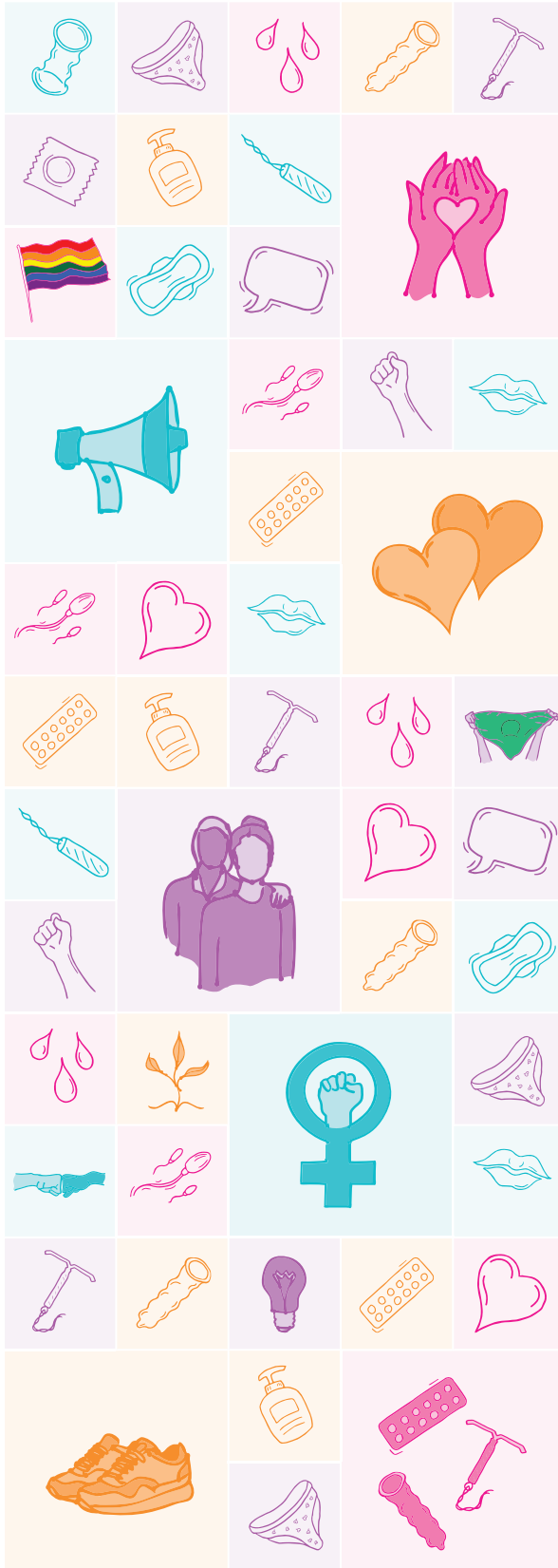


カム・トゥゲザー：共に進もう

IPPF 2028戦略概要



IPPFの新戦略について

国際家族計画連盟(IPPF)は120以上の独立した加盟協会(MA)で構成される連盟です。メンバー組織は多様ですが、いずれもすべての人々の権利であるセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖の健康と権利: SRHR）のための、大きなニーズに応え、他ではケアを受けられない人々にサービスを行き届かせる活動を行っています。

IPPFは120カ国中89カ国において、最も多くの避妊具(薬)を提供する市民社会組織(CSO)であり、89カ国のうち64カ国では、避妊具を提供する唯一の大規模国際組織です。2016年から2022年の間に、連盟全体で累計10億件以上のSRHサービスを提供しました。毎年、22億米ドルの資金を関連サービスの提供やアドボカシー活動に費やしています。

IPPFが先進的な変革の力として、またセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス(SRH)サービス・プロバイダーの主要な連盟として策定した2023-2028年戦略「カム・トゥゲザー: 共に進もう」は、すべての人のSRHRに向き合い、前向きに捉え直すものです。2年間にわたり綿密な協議を重ねて編み出されたこの戦略は、多様性を尊重しながら連帯し、ケアを提供し、人権を促進するという共通の使命を確認し、重視する連盟の統一見解です。私たちが提供するケア、私たちがとる行動、そして私たちが育む連帯を通じて、IPPFがどのように規模を拡大し、目的を持って、急速に変化する世界に対応していくかについて明確にしています。

本戦略は、4本の柱によって支えられています。最初の3本は、対外的な視点で、排除され周縁化された人々に質が高く、人を中心としたケアを届けること、社会的・法制的な変革を実現すること、フェミニズム視点に立った行動と国際連帯を強化することに焦点を当てています。4本目の柱は、連盟内における課題に着目し、実質的かつ長期的なインパクトをもたらすための新たな原動力を加えています。それぞれの柱には、目標と3つの道筋(目標を達成するために優先すべき行動)を立て、それぞれが独立することなく、**戦略全体を通じて縦断的につながり、支え合っています。**

選択肢の拡大

安全な中絶と不妊治療を後押し
SRHRパッケージにHIVを統合
避妊の選択肢を拡大



アクセスの拡張

周縁化されたコミュニティへの支援提供
若者を中心にしたケアの提供
危機的状況への備えとケアの強化



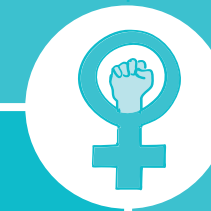
誠実なアドボカシー

あらゆる段階でのアドボカシー活動の連携
地域社会の人々の声の拡大
コミットメントの達成状況を監視



規範を変える

性とジェンダーに基づく暴力の防止
交差性、フェミニズムに基づく行動
成功事例の共有



デジタル&セルフケアの推進

デジタルヘルス事業への投資
セルフケアの尊厳



人を中心としたケア

目標: 質の高い「人を中心にしたケア」を
より多くの人、より多くの場所へ

セクシュアリティ・ アジェンダを変える

目標: すべての人々の性と生殖に関する
権利のための社会的・法的変革



若者とともに

若者の声を前面に
包括的性教育の推進
SNSの活用

連盟を育くむ

目標: 連盟を共通の価値基盤から強化・
育成し、集合体としての総力を尽くし、
より大きなインパクトを生み出す



IPPFアイデンティティーの明示

連盟憲章の草案づくり
ブランドの刷新
組織文化の構築



言行の一致

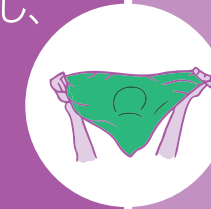
差別との戦い
ジェンダーと性の多様性の尊重
ユース組織とリーダーシップ

連盟の発展

新しいメンバーの発掘
システムの近代化とスキルの向上
資源の動員と収入源の多岐化

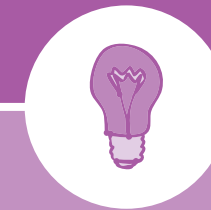
変革への連帯

目標: 人々の架け橋となり、言説を形成し、
地域社会、さまざまなムーブメント、
セクターをつなげることで、
影響力を強める



社会運動の支援

能力の連結
メッセージの拡散
ムーブメントの経済支援



知識の革新と共有

IPPFセンターと資金の拡大
学習の伝達
アイデアと技術の創出

戦略的パートナーシップの構築

セクターを超えたコラボレーション
同盟と共同活動体の構築
地域社会グループとネットワークの
主催および支援



成果の枠組み

本戦略の包括的な成果の枠組みは、12の戦略指標により、主要な連盟の取り組みと目標に向けた進捗状況をはかるものです。

成果の枠組みの主な内容は以下の通りです。

人を中心としたケア



選択肢の拡大
アクセスの拡張
デジタル&セルフケアの推進

1. IPESプラス*のサービスを提供する加盟団体/協力パートナーの割合、および品質基準の達成率。
2. 若者、人道危機下にある人々、その他社会から疎外され周縁化された人々に焦点を当てたサービスとケアの種類別(デジタルヘルス事業(DHI)、セルフケアの促進を含む)クライアント数。
3. 若者、人道危機下にある人々、その他社会から疎外され周縁化された人々に焦点を当てたサービスとケアの種類別(デジタルヘルス事業(DHI)、セルフケアの促進を含む)サービス数。
4. 自国におけるSRHサービスに対する加盟団体/協力パートナーの貢献度。

セクシュアリティ・
アジェンダを変える



誠実なアドボカシー
規範を変える
若者とともに

5. SRHRを支援または擁護する政策イニシアチブや法改正の数。
6. 連盟全体およびサービスを提供する地域社会におけるジェンダー平等および包摂性に関する認識と態度の変化。
7. CSEの質、到達度、成果、若者中心ケアの提供度、および連盟における若者の巻き込み率。

変革への連帯



社会運動の支援
戦略的パートナーシップの構築
知識の革新と共有

8. 社会運動の支援と活動家の擁護におけるIPPFの貢献度。
9. 多様性と脱植民地化の視点を通して、SRHR を支援または擁護するために連盟が実施した、セクター内、セクター間のキャンペーン数。
10. グローバルサウスにおける加盟団体主導の学習センターが生み出す、研究調査とデータに基づくイニシアチブの割合。

連盟を育くむ



言行の一致
IPPFアイデンティティの明示
連盟の発展

11. 1カ所のドナーから受け取る額が収入の50%未満である加盟団体/協力パートナーの割合。
12. 事務局全体の効率性評価。

*「必須サービス統合パッケージ(IPES)」は、包括的SRHケアで、人々の最も重要なニーズを優先して、不可欠なサービスの提供を届けるもので、以下の8つのコンポーネントから成る。1. SRHカウンセリング; 2. 避妊; 3. 安全な中絶ケア; 4. 性感染症/RTI(性感染症/生殖器感染症); 5. HIV; 6. 婦人科; 7. 産前ケア; 8. ジェンダーに基づく暴力関連。IPESプラスには、それ以外のサービス(不妊治療や産科等)も含まれる。

IPPFの活動と成果の詳細については、<https://www.ippf.org/jp>をご覧ください。

twitter.com/ippf

facebook.com/ippfglobal

instagram.com/ippf_global